

# 経済日誌

9月

P はポイント、BSI は景況判断指数、LCC は格安航空会社

国内		県内	
1日	<b>4～6月期企業経常利益、前年同期比22.6%増加</b> 財務省は、4～6月期の法人企業統計で、金融・保険業を除く全産業の経常利益が22兆3,900億円と発表。	5日	<b>地域経済のけん引役に、6社認定</b> 県内の13機関で構成する県企業成長促進プラットフォームは、地域経済の「成長期待企業」に新たに6社認定。
4日	<b>8月資金供給残高、過去最高を更新</b> 日銀は、8月末のマナリーベース(資金供給残高)が、前年同期比16.0%増の469兆1,626億円と発表。	6日	<b>都城市と住宅金融支援機構、連携協定を締結</b> 都城市と住宅金融支援機構は、定住促進などを目的に、住宅取得の支援に関する連携協定を締結。
7日	<b>7月景気一致指数、2カ月ぶり低下</b> 内閣府は、7月の景気動向指数(速報値)で、景気の現状を示す一致指数が前月比1.2P低下の115.6と発表。	7日	<b>ニシタチに、フードコート型飲食施設が開業</b> 宮崎市のニシタチに、ジャンルの異なる料理を提供する13店舗が入った飲食施設「宮崎ひなた横丁」がオープン。
8日	<b>7月国際収支黒字額、7月としては過去最多</b> 財務省は、7月の国際収支速報で、経常収支の黒字額が前年同月比19.6%増の2兆3,200億円と発表。	7日	<b>6、7月県内金融経済概況、判断据え置き</b> 日銀宮崎事務所は、6、7月の県内金融経済概況を発表。「緩やかに回復している」と判断据え置き。
8日	<b>8月街角景気、前月比横ばい</b> 内閣府は、8月の景気ウォッチャー調査で、街角の現状判断指数(季節調整値)が前月と同じ49.7と発表。	7日	<b>8月県内企業倒産件数、初のゼロ</b> 東京商工リサーチは、8月の県内企業倒産件数が0件と発表。発生件数が0件は昭和46年の集計開始以来、初めて。
11日	<b>7月機械受注、4カ月ぶり増加</b> 内閣府は、7月の機械受注統計(季節調整値)で、「船舶・電力を除く民需」の受注額が前月比8.0%増の8,533億円と発表。	8日	<b>高鍋町とキャノン、立地協定書に調印</b> 高鍋町とキャノン(株)(東京都)は、高鍋町の南九州大・高鍋キャンパスに、デジタルカメラを製造する大型工場を建設すると発表。
13日	<b>7～9月期大企業景況感、2四半期ぶり上昇</b> 財務省と内閣府は、7～9月期の法人企業景気予測調査で、大企業の全産業のBSIがプラス5.1と発表。	11日	<b>和牛五輪、肉牛の部で「日本一」</b> 仙台市で開催された全国和牛能力共進会で、肉牛の部で本県代表牛が最高賞の内閣総理大臣賞を獲得。
15日	<b>16年度医療費、14年ぶり前年度比減少</b> 厚生労働省は、2016年度の医療費(概算)が、前年度比1,762億円(▲0.4%)減少の41兆2,865億円と発表。	13日	<b>7～9月期法人企業景況感、前期比9.2P低下</b> 宮崎財務事務所は、7～9月期の法人企業景気予測調査で、本県の全産業のBSIがマイナス11.0と発表。
19日	<b>商業地の基準地価、10年ぶり上昇</b> 国土交通省は、7月1日時点の基準地価で、商業地の全国平均が前年比0.5%上昇したと発表。	14日	<b>LCCが、本県初の宮崎一成田線に12月就航</b> LCCのジェットスター・ジャパン(千葉県)は、宮崎一成田線を12月に就航させると発表。
20日	<b>8月貿易収支、3カ月連続黒字</b> 財務省は、8月の貿易統計(速報、通関ベース)で、貿易収支が1,136億円の黒字(前年同月は346億円の赤字)と発表。	14日	<b>宮崎市と第一生命、包括連携協定を締結</b> 宮崎市は、第一生命保険(株)(東京都)と医療や福祉などの分野で協力することを目的に、包括的連携協定を締結。
25日	<b>9月の国内景気、58カ月連続拡大</b> 内閣府は、9月の月例経済報告で、景気判断を4カ月連続で「緩やかな回復基調が続いている」と発表。	15日	<b>16年度本県医療費、前年度比減少</b> 厚生労働省は、2016年度の本県の医療費(概算)が、前年度比1.7%減の3,914億円と発表。
29日	<b>8月消費支出、実質で前年同月比0.6%増加</b> 総務省は、8月の2人以上世帯の家計調査で、1世帯当たりの消費支出が実質で28万320円と発表。	19日	<b>県内基準地価、前年比下落率は6年連続縮小</b> 県は7月1日現在の地価調査結果を公表。商業地は26年連続、住宅地は18年連続下落したものの、下落率は縮小。
29日	<b>8月消費者物価、8カ月連続前年同月上昇</b> 総務省は、8月の全国消費者物価指数(生鮮食品を除く)が、前年同月比0.7%上昇の100.3と発表。	21日	<b>16年本県観光客数、前年比3.1%減少</b> 県は、県民の県内旅行を含めた2016年の本県観光客数が、前年比3.1%減の1,530万人だったと発表。
29日	<b>8月有効求人倍率、前月比横ばい</b> 厚生労働省は、8月の有効求人倍率(季節調整値)が、前月と同じ1.52倍と発表。	30日	<b>宮大生が、斬新な発想を披露</b> 本県の活性化につながる事業のアイデアを競う「宮崎大学ビジネスプランコンテスト」(宮崎大、宮崎銀行主催)が初めて開催。